

## 一人ひとりの自立をめざした学級づくり

### I 主題設定の理由

社会生活の激しい変化の中で、子どもの生活様式や生活の意識も大きく変わってきた。多くの問題を抱える現代社会において人々は、自己の利害や損得に関わるものには敏感に反応するが、人とのつながり、思いやりや親切の心となると希薄になってきているように感じる。現代社会においては、競争を乗り切り、自分さえよければよいといった風潮があり、他者を省みない傾向がある。そうした中で、その社会的問題や矛盾が集積する学校においても、「学級崩壊」「いじめ」「不登校」など様々な問題が起きている。

学校での「学び」の基本は、学級集団にある。一人ひとりの子どもが集団の一員として互いに認められ、楽しく生活し、学ぶための空間が確保できるような学級集団づくりが求められる。そしてさらに、自分たちの思いによって自治的な活動を創り出し、そこから学びあえる学習集団にまで高めていく必要があると考える。

そこで、本部会では、一人ひとりが認められる学級づくりをめざして、「一人ひとりの子どもが居心地の良い集団づくり」、「人間関係の絆を強め、人とのつきあい方を学んでいく場面づくり」について研究を進めてきた。今年度も、「子ども自らがよりよい学級集団を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるための手だて」について研究していくこととし、本主題を設定した。

### II 研究の内容

#### 1 研究の方法

- (1) 各個人の取り組みや実践を発表し、研究討議をする。

〈レポートの例〉

特別活動の充実、学級会の進め方、班長指導、朝の会・帰りの会の進め方、係活動、構成的グループエンカウンター、課題解決の手だてなど学年の発達段階や各クラスの実態に応じた「自立をめざした学級づくりの手だて」について。

- (2) 講師を招き、「一人ひとりの自立をめざした学級づくり」についての学習会を行う。
- (3) 授業研究を通して「子ども自らがよりよい学級集団を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるための手だて」について学習を深める。

#### 2 研究の具体的内容

##### (1) 第1回研究会

今年度の研究の方向性の確認・・・研究テーマ・研究方法について

##### (2) 第2回研究会

年間計画についての検討・確認

##### (3) 第3回研究会 実践発表 I

- ・「一人ひとりの自立をめざした学級づくり」(2年・5年)
- ・「よりよい学級づくりをめざして」(3年)

##### (4) 第4回研究会 夏季学習会

- ・小学校における「学級づくりの基本的な考え方/学級づくりの実際とその課題」  
～子どもどうしの「つながり」を意識した学級づくり～  
講師：清水浩喜先生(都留市立東桂小学校)

- ・授業案検討会 「係の活動内容を見直そう」(4年)

##### (5) 第5回研究会 授業研究①

- ・学級活動  
「係の活動内容を見直そう」(4年)

- (6) 第6回研究会 実践発表Ⅱ
  - ・「一人ひとりの自立をめざした学級づくり」(1年・4年・5年)
  - ・「一人ひとりの自立をめざした学級作りレポート」(2年)
  - ・「一人ひとりが自立した学級づくりをめざして」(4年)
- (7) 第7回研究会 実践発表Ⅲ
  - ・「一人ひとりの自立をめざした学級づくり」(2年・3年・5年・6年)
  - ・「一人ひとりが自立した学級づくりをめざして」(5年)
- (8) 第8回研究会 実践発表Ⅳ
  - ・授業案検討会 「上手な気持ちの伝え方を知ろう」(3年)
- (9) 第9回研究会 授業研究②
  - ・学級活動
  - 「上手な気持ちの伝え方を知ろう」(3年)
- (10) 第10回研究会 実践発表Ⅴ
  - ・「一人ひとりの自立をめざした学級づくり」(1年・5年・6年)

### Ⅲ 成果と課題

#### 1 成果

- ・“自立”のイメージを共有し合うことにより、個々の違いを財産とした個と集団との関わりの中で、個の自立と集団の自立双方がからみ合いながら成長していくことを確認することができた。また、授業実践や実践発表は、児童の実態にもとづいた工夫された取り組みを学ぶ機会となり、大変参考になった。
- ・一人ひとりの実践をみんなで考え合うことで、自分の学級の実践に対するたくさんのヒントが見つかった。他の先生方の実践に触れることは、とても勉強になり良かった。各校の実践レポートは、日常の様々な生活場面で活用できるものがあり、自校の実践に取り入れることができた。討議の中で、学級経営で悩んでいることなども相談でき、とても有意義な時間をもつことができた。低学年・高学年に分かれて話し合ったことも、話し合いが深まり良かった。
- ・夏季学習会では、東桂小学校の清水浩喜先生に、子どもどうしの“つながり”を意識した学級づくりについて具体的な話をしていただき、とても勉強になった。「子どもたちは目の前の日々の活動を通して変わる」「授業づくりと学級づくりは一体である」という当たり前の取り組みの積み上げが大事であると再認識させられた。個と集団の見つめ方や、目指すイメージの子どもたちとの共有など、同じ立場の先生からのお話は共感できることが多く、大変勉強になった。

#### 2 課題

- ・学級の取り組みの様子等の報告が多かったが、子どもたちの具体的なやり取りまでを細かくレポートにしていけると、もっと話し合いやお互いの学びが深まるのではないかと感じた。
- ・毎年話題になる「子どもの権利条約」について、一度じっくり学習する場を設ける必要がある。

(部長 中村 未来)